



大津支局
大津市京町四丁目
〒520-0043
077(523)3388
FAX 077(524)4447

彦根支局
彦根市古沢町661の2
〒522-0007
0749(22)1234
FAX 0749(24)5112

(広告) (23)4018

長浜通信局
0749(62)0436
FAX 0749(62)0437

近江八幡通信局
0748(33)3456
FAX 0748(33)3416

甲賀通信局
0748(62)0347
FAX 0748(62)0459

東近江通信部
0748(22)0331
FAX 0748(24)0702

県難病連絡協議会は、難病患者支援に役立てるため、不要になった入れ歯など歯科用金属の提供を呼び掛けている。孤立しがちな難病患者や県内の小規模な患者団体を支援する難病連は、活動費の確保が悩みの種。葛城貞三常務理事は「活動を続けていくためにも、多くの人に難病について知ってもらい、協力を募りたい」と話している。

(林勝)

不要入れ歯 提供協力を

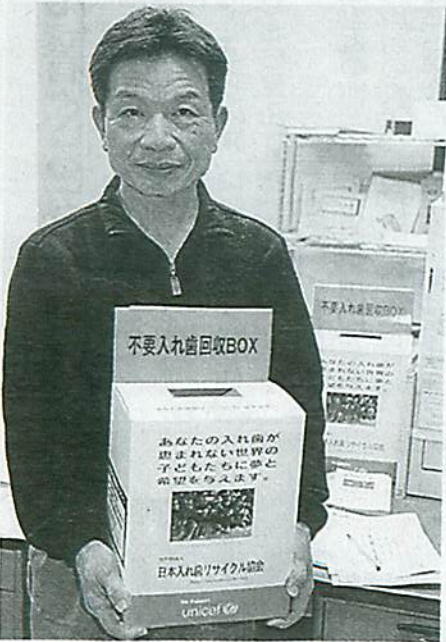
難病連が歯科用の貴金属を回収する「入れ歯リサイクル」を始めたのは昨年七月。金属の付いた入れ歯や歯の詰め物、かぶせなどは換金性が高い。県内の病院にリサイクルボックスを設置し、歯科医院などの協力も得て回収を進めたところ、六カ月で約四十万円の収益があった。

このほど、必要経費を除き、十八万円をユニセフに、六万円を日本難病・疾病団体協議会にそれぞれ寄付。十二万円を同会の活動資金として受領した。歯科用金属部分だけを大量に集めて贈ってくれた人や、現金での寄

回収箱設置の難病連絡協

付もあった。葛城さんは「多くの人の支援に涙が出るほどうれしい」と語る。

難病連は、県難病相談・支援センター(大津市)を県から委託料を受けて運営。その一方、難



入れ歯などに含まれる歯科用金属リサイクルで難病患者への支援協力と呼び掛ける県難病連の葛城常務理事(大津市)

活動費もピンチ「リサイクル頼みの綱」

病連の従来の相談事業に対する県の補助金が二〇〇六年度にカットされたため、会費による活動は不可能な状況だ。

活動費を葛城さん個人で捻出することもある。保健所主催の患者交流会などで、相談業務を担当する報酬を全額寄付している。今のところ、民間企業や個人からの大口の寄付に一時的に助けられているが「近いうちに活動ができなくなるかも」と危機感が募る。

葛城さんは「入れ歯リサイクルは難病連にとって頼みの綱」と話す。リサイクルへの協力は郵送でも受け付ける。問い合わせは、県難病連(電話077(510)0703)へ。